

2010-2011

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com



地域を育み、大地をつなぐ

2010-2011 年度 RI 会長 レイ・クリンギンミス

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 太田 敦士 ■幹事 / 吉木 邦男 ■会報・雑誌・広報委員長 / 三島多恵子
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第936回

2010年12月21日(火) 雨 第23回

～ 家族月間 ～

斉唱	R-O-T-A-R-Y
出席	会員 65名 (出席率算入人数 56名) 出席 46名 出席率 82.76% 前々回補填率 96.43% (12月7日分)
ゲスト	株式会社カस्पデンタルサプライ 代表取締役 山田 和伸 様
ビジター	尾張旭 RC 舟橋 龍秀さん

副会長あいさつ

副会長 猪村 美之さん

初めにお願いですが、ロータリー財団の寄付をまだ15～16名されていない方がみえます。ご協力いただけます方はぜひ振込みの方を宜しくお願いいたします。

さて、前回の例会は忘年家族会でした。親睦活動・家族委員会の皆様、本当に御苦勞様でした。特にダンスの時間を沢山取っていただきまして、非常に楽しい思い出をさせていただきました。ダンス部が始まって1年でちょうど良い発表の機会がありまして、益々皆さんも刺激になったと思います。

ダンスを始める時には皆さん「こんな年寄りとするのは嫌だ」と最初に言われるのですが、少しやれば慣れまして、私も80代や90代の方と楽しく踊ることもあります。老後の楽しみとしては非常に良いことだと思っております。

この機会にダンスをやっていて良かったことを紹介させていただきます。ダンスをやっている方は80歳になっても元気な方が多いです。私は10年近く前に新原さんに誘われてカルチャーセンターで始めたのですが、それ以来ウエストが6cm縮まり、身長が2cm増えました。この歳になって身長が伸びるのはダンスの効用だと思います。健康にも必ず良いはず。また、ダンスをやられる方は結構多いので色々な仲間ができます。旅行等色々誘われて、仲間作りとしては非常に良いと思います。そして年中暑くても寒くても、雨が降ろうと雪が降ろうと同じようにできます。ぜひとも皆さんもダンス部にもっと参加していただいて、健康のためにやっていただきたいと思っております。

それから私は合唱もやっておりますが、声を出すことは非常に体が気持ち良いです。ぜひロータリー



活動の一部としてこういった趣味の会にも益々参加していただいて、ロータリー生活をエンジョイしてほしいと思います。

幹事報告

幹事 吉木 邦男さん

1. 事務局の年末年始休暇は12月28日～1月4日までとなっております。お休み中に急用が起きた時は幹事までお願いします。番号は090-1412-5193です。
2. 下期は1月11日新年ゆったり例会より始まりです。会場が変更しておりますのでお間違いの無いようにご参加ください。
3. 1月のロータリーレートが1ドル84円になっております。12月までは82円で換算されていますのでよろしくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 本年最後の例会です。
山田和伸さんの外部卓話、楽しみにしております。

新原 尚さん	加藤 英敏さん	白銀 義昭さん
野々村 憲吾さん	山本 誠一さん	三浦 和人さん
白藤 憲雄さん	田中 省三さん	江上 隆夫さん
杉山 隆秀さん	猪村 美之さん	吉木 邦男さん
東山 直史さん	坂田 信子さん	武藤 正行さん
伊藤 圭一さん	犬飼りさ枝さん	川辺 清次さん
加藤 宜之さん	中西 芳子さん	宮澤 伸光さん
牧野 好弘さん	安藤 修さん	田中 一雄さん
小野 雅之さん	佐々木元彦さん	鈴木 一博さん
本多 利郎さん	細井 俊男さん	浅井 浩さん
太田 敦士さん	生野 房江さん	大橋 さなえさん
木下 福郎さん	入谷 直行さん	黒田 康正さん
木村 猛さん	三島多恵子さん	久米 伸治さん
杉本 勇さん	有川 英敏さん	

- ◆ 今年も後わずかになりました。小生にとっては多難の年でした。皆さん良い年をお迎え下さい。

小山 慎介さん

- ◆ 忘年家族会、御苦勞様でした。 山本 郁矢さん
- ◆ 会長を退任し相談役になりました。本年は皆様は大変お世話になりました。来年もよろしく。

林 隆二さん

本日合計 57,000円 累計 964,000円

■親睦活動・家族委員会 安藤 修さん

新年ゆったり例会を、1月11日名古屋国際ホテル地下1階「銀座」にて6時30分より開催いたしますので、皆様ぜひご参加を宜しく願いいたします。

外部卓話

■「笑顔で老いるために」～審美治療の最前線～

株式会社カस्पデンタルサプライ
代表取締役 山田 和伸様

今日お話することは「審美歯科の最前線」と題しまして、口の中から金属を無くしていきましようという流れの中で出てきているオールセラミックスという技術についてです。



日本でウェブサイトを見てみると歯が白く綺麗になりますよという写真が非常に多く、それは一般企業の方々がサイトに乗せてやっていることです。我々技工士や歯科医師の先生方というのは、日本歯科審美学会や日本審美歯科協会で検索していただくとどういった活動をしているか分かると思います。

90年代に入った頃人々は健康で豊かな暮らしを求めました。空気や水をお金を出して買うという生活に変化してきました。今までは、歯が痛い、噛めない、人前に出るのが少し嫌ということで歯医者さんへ行っていたのが、今はもっと表情を取り戻そう、若々しい口元を、理想的な笑顔をということを求め、悩みを通り越し思想や夢を追い求める為に歯科医へ行くということに変わってきています。これは日本だけではなく、世界的な兆候であります。

私の会社を紹介しますと、天白区梅ヶ丘にあります。中では顕微鏡を覗いて非常に細かい作業で1センチ平方位の非常に小さなものを作っています。ノリタケカンパニーの中のノリタケデンタルサプライという会社が材料のセラミックスを作りまして、それを世界に売っています。イタリアの技工所等で人を集めて教えたり、吹上ホールで毎年2月にデンタルショーでデモンストレーションをして技工士や歯科医師の先生方にアピールをするという活動も行っております。ボストンにある非常に大きいラボは27人でやっております。ボストン大学、ハーバード大学、タフツ大学それぞれに歯学部がありますのでそちらの方の歯を作ったりということを行っております。

今、コンピューターの支援によって歯医者さんが一回り小さく削って被せますが、一回り削った形をコンピューターの力を借りて映像として画面に出した上でデザインをして、ものに変えていくといういわゆるキャドカムといったものが、歯科の中でもかなり取り入れられてきています。昔の歯科技工士は歯医者さんの裏方で一日中壁に向かって仕事をするというイメージでしたが、今は全てキャドカムの力を借りて非常に精度の高いものを作っています。いわゆる三角測量法で、レーザー光線を当ててそれを2つのカメラで角度を読み取りながら歯医者さんが一回り削った歯を画面上に読み取らせ、画面上に出してきたものの上に設計していきます。実際には冠の

内側のクラウンと呼ばれているものがセラミックスで出来上がります。これが今までは金属でした。私の会社はノリタケカンパニーの技術顧問をやらせていただいております。ノリタケの電子セラミック事業部の中に歯の材料を作っている部門があります。まだ20年の歴史しかありませんが、このセラミックスを世界に売り出してかなりのシェアを取るまでになっています。韓国ではほぼ半分、ブラジルのサンパウロでは75%以上の歯科技工士がノリタケのセラミックスを使って歯を作っています。セラミックスが最も歯の色に近いものを作り上げることが出来ます。

審美歯科の中ではクラウンには大きく分けて2つありますが、時代はオールセラミックスに移行してきています。上は必要ありませんが、下はキャドカムの活用がかなり幅を利かせています。天然歯は内側に象牙質があり、外側を体の中では一番硬いと言われているエナメル質というものが覆っており、これで通常は咀嚼をしています。なぜオールセラミックスかと言いますと、外からの光を遮るものが天然歯には存在しません。歯肉と歯を透過して光が入りますと、中に入った光はどこかで弱く反射してきます。そうすると歯肉部分が明るく光っているというのが天然歯です。中にメタルやメタルセラミックスを使いますと、光が遮られてしまいますので、黒ずんでみたり、歯肉が落ちた時にブラックラインと呼ばれる黒い線が出てしまいます。これがメタルを使うことのマイナス点になります。

一方メタルを使っていないと非常に透過性のある綺麗な冠を作ることができます。これがオールセラミックスの大きな利点です。今、工業界から出てきたジルコニアが流行ってきています。ジルコニアはセラミック包丁、時計、人工ダイヤモンド、絶縁体等で使われている材料です。ジルコニアはチタンと同様、非常に生態親和性に優れています。

また、歯の内部に金属を入れてしまうと、中が強固過ぎて噛めば噛むほど残念ながら破折してしまいます。今はこれを避けるためにセラミックスでできたファイバーを編み込んでいって特別な方法で固めたものを製品として売り出しています。これが口の中で歯が割れるのを防ぎ、光を通すので審美的に非常に有利ということで、中側も外側もオールセラミックスで白く、光を通す天然歯と同じような見え方をさせるのがトレンドとなります。この歯を作るのは、日本人の器用さというのがどこへ行っても認められています。

どうも貴重な時間をありがとうございました。

第938回例会(1月18日)のご案内

クラブフォーラム

「会長賞・会員増強経過報告」